

# ウィズ通信

## 女性の視点で歴史を見れば…



絵：きむらなおこ

### 歴史に埋もれた女性たちを知ろう！

昨年の NHK 連続テレビ小説「あさが来た」の主人公のモデルとして一躍脚光を浴びた広岡浅子は、幕末の京都に生まれ、明治、大正時代を生き抜いた女性実業家です。浅子は、「女性はこうあるべき」という社会通念の枠をはみ出して、新しい事業に乗り出し成功します。また、幼い頃に「女に学問は不要」と読書を禁じられた体験を持つ浅子は成瀬仁蔵の『女子教育』の考え方に共感し、日本女子大学校(現・日本女子大学)設立のため奔走します。実業家を引退した後には講演、執筆活動の他、自分の別荘で夏期講習会を開き、次世代の女性たちの教育に力を注ぎました。この講習会には若き日の市川房枝や村岡花子などが参加していました。

玉岡かおるさんの小説「負けんとき ヴォーリズ満喜子の種まく日々」を読むと、主人公の生き方に大きな影響を与えた人物として広岡浅子が描かれており、他にも様々な女性活動家たちが登場します。

広岡浅子のまいた種は多くの女性たちに受け継がれ、後の女性のために道を拓く礎となったのです。

# 明治から 150 年、女は生きやすくなったのか？

## 「あさが来た」の時代（幕末から明治へ）

明治初期の自由民権運動の盛り上がりの中では、女性も男性と共に活動し、男女同権も主張されていました。地方レベルでは女性の選挙権が認められることもありました。

しかし、1890(明治23)年に公布された集会及結社法によって全ての女性の政治的権利が奪われたのです。また、1898(明治31)年の明治民法の制定によって、「家」は長男が継ぐものとされ、女性は財産権などにおいて「無能力者」と定められます。日本が近代化していく中で、女性の権利はむしろ狭められていったのです。

男のすること、  
なんで女がしたらあかんの？



広岡浅子(1849 - 1919)

自分のことだけやのうて、  
社会を変えることを考えなあかん

女性に  
参政権を！



市川房枝(1893 - 1981)  
広岡浅子の夏期講習会  
に出席していた

1919(大正8)年、平塚らいてう、市川房枝らが「新婦人協会」を設立し、女性の集会結社の自由を禁止していた治安警察法第五条の改正を求める運動を展開しました。1924(大正13)年「婦人参政権獲得期成同盟会」を結成。男子普通選挙が成立した1925(大正14)年には同盟会を「婦選獲得同盟」と改称し、政府・議会で婦人参政権を求める運動を続けました。

その後、女性の参政権が認められたのは1945(昭和20)年でした。

## 大正時代、女の生き方をめぐって熱い論争があった！

1918(大正7)年から1919(大正8)年頃、大正デモクラシーの興隆期の中で、当時の言論界で有名だった女性たちによって熱い論争が繰り広げられました。これは「母性保護論争」と呼ばれましたが、内容は女性が働くこと、子どもを産み育てること、女性の生き方全般に渡る幅広いものでした。あなたは誰の意見に共感しますか？



与謝野晶子(1878 - 1942)  
「みだれ髪」でデビューした歌人。執筆活動をしながら11人の子を産み育てた。日露戦争時、出征する弟を思い「君死にたまふことなかれ」という歌を発表した。

結婚や出産より前に、女性は経済的に自立すべき。男性や国に頼るのは甘えでは？



平塚らいてう(1886 - 1971)  
日本女子大学を卒業し、「青鞥」を創刊。法律婚を拒否し新しい恋愛観、結婚観を世に訴えた。女性の政治的権利を求めて活動した。

経済的自立のためには母性保護が必要。子育てに価値を認め、国が子育てのための費用を出すべきだ。

社会の基本である家庭を守り、子を育てるのは女性の大事な仕事。男性が外でお金を稼いで子どもを養うのは当然です。



山田わか(1879 - 1957)  
18歳の時、騙されて娼館に売られた。脱出後、女性問題について著作や講演活動始める。「青鞥」にも参加。戦前戦後を通じて、困窮する母子の自立のための生活・職業指導等のために尽力した。

仕事か子育てかと、今の社会の枠組の中で考えても解決できない。男女ともに、仕事も子育ても担えるように社会を根本的に変えましょう！



山川菊栄(1890 - 1980)  
女子英学塾(現・津田塾大学)を卒業。女性問題について多くの翻訳や著作を発表した。戦後は労働省婦人少年局初代局長に迎えられ、女性労働者の権利を守る多くの法制度を作った。

### 「母性保護論争」参考文献

- ・晶子、愛をうたう 劇でみる、らいてう・わか・菊栄との母性保護論争(梨の木舎)
  - ・資料 母性保護論争(ドメス出版)
  - ・山川菊栄集1 女の立場から(岩波書店)
  - ・与謝野晶子評論集(岩波書店)
  - ・平塚らいてう自伝 元始、女性は太陽であった(大月書店)
- 他多数

## 「あさ」の後にも多くの女性たちが道を拓いた

## 日本国憲法に“男女平等”を書いたのは22歳の女性

…婚姻と家族とは、両性が法律的にも社会的にも平等であるとの考えに基礎をおき、親の強制ではなく相互の合意に基づき、かつ男性の支配ではなく両性の協力に基づくべきことをここに定める。…(中略)…個人の尊厳と両性の本質的平等の見地に立って定める法律が制定されるべきである。  
(ベアテさんの書いた日本国憲法草案より)

第2次世界大戦後、日本を占領した連合国総司令部(GHQ)によって日本の新憲法の原案が作成されました。現在の日本国憲法二十四条の原型は、22歳のベアテ・シロタ・ゴードンさんによって起草されました。



女性が幸せにならなければ、日本は平和にならない

ベアテ・シロタ・ゴードン(1923 - 2012)

最終的には

日本国憲法  
第二十四条 婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。

## むかし 歴史を知れば、現代が見える

現代も、働きたくても子どもを保育園に預けられなくて困ってる人がたくさんいるよね

男は仕事、女は家庭とか言うけど、実際には多くの女性が昔から働いてるんだよね

女性が輝くためにはまだまだいろんな取り組みが必要だね



# ウィズせつつカレッジ 2016～女たちが拓いた女の歴史～

「男は仕事、女は家庭」が当たり前？いえいえ今「当たり前」と思っていることは、そんなに昔から「当たり前」ではなかったのです。

ジェンダーの視点で歴史を読み解けば、いろんなナゾが見えてきますよ！

歴史を掘り起こせば  
パワフルな女性  
がいっぱい！



男女共同参画セミナー講師  
玉岡かおる(小説家)

良妻賢母だけが女の生きる道？  
そんなこと誰が決めたの？

セクハラ、マタハラ、当たり前。  
昔は女工哀史、現代はブラック企業。  
女はいつも闘ってきた。

山川菊栄ってどんな人？  
共に歩んだ人たちや研究者などのインタビューで  
構成されたドキュメンタリー映画。映画には出て  
来ないエピソードも監督  
から聞けるかも！



「プスのひがみ」と揶揄され、ま  
ともに語られることの少なかった  
ウーマン・リブの本当の姿は？

現代を読み解くた  
めに歴史を学び、  
未来につなげよう

	日時	タイトル
前期	6月18日(土) 午後2時～4時 (公開講座)	【入学記念講演/男女共同参画セミナー】 歴史を輝かせた女たち
	7月2日(土) 午前10時～12時	「女人禁制」のナゾ
	7月16日(土) 午前10時～12時	「良妻賢母」のナゾ
	9月3日(土) 午前10時～12時	働く女のサバイバル今昔
	9月17日(土) 午前10時～12時30分 (公開講座)	山川菊栄の思想と活動 「姉妹よ、まずかく疑うことを習え」 映画上映と監督トーク
後期	10月1日(土) 午前10時～12時	ベアテさんの贈り物 一憲法に男女平等を書いた女性
	10月15日(土) 午前10時～12時	「婚活」のナゾ
	10月22日(土) 午前10時～12時	わたしの生き方とウーマン・リブ 一子育てと家族の問い直し
	11月5日(土) 午前10時～12時	わたしの女性史
	11月19日(土) 午前10時～12時	卒業式「わたしたちが拓く男女共 同参画の未来」

## 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつは...

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



「ウィズ通信」は、年に3回、発行します。

編集・発行

## 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL: 06-4860-7112 FAX: 06-4860-7113

URL: <http://with-settsu.jp> e-mail: danjyo@with-settsu.jp

●開館時間: 月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時  
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日: 水曜日・祝日・年末年始

2016年6月発行